

●レース開催日 2013. 7 / 27 (土)

イラスト 麦倉亜希子

- ◆イベント終了後は、サーキット内にキャンプ宿泊は可能です。
- ◇入場者が一旦 温泉や食事などで外出し、サーキット内に再入場する場合は、係員の指示に従ってください。
- ◇防犯上の理由により、20:00以後、サーキット内への新たな一般入場はできません。
- ◇サーキット内で、花火など他人に迷惑をかける行為は厳禁です。
- その他注意事項は、参加者に送られるエンタラント通信をご覧ください。

7/27
【日の入】
18:53

全日本ママチャリ8時間耐久レース・参加規則

1 「ママチャリ」の基本定義（今大会のママチャリとは）

* 2013年は夜間走行が1時間程度復活しますので、ライト規定が復活します

ホームサイクル(ママチャリ)、または シティーサイクルの一般市販フレームを無改造で使用

後ろ向きに
電池式赤色点滅灯を装着
マグネット発電式は不可

★1個装着の場合は、シートポストに装着
★2個装着の場合は、リアフレーム両サイドに1個づつ装着

◆ママチャリクラスは
内変速3段変速以下
改造不可

フロントギアは 42Tまで

ライトは1個以上を装着
電池式の
ハロゲン/クリプトン/LED
のライトを使用

* 発電式は不可

* 取り付け位置は、ハンドルに装着の場合、カゴを照らさないように考慮すること

* ライトは、1.5m程度前を照らして、前走者に自分の存在を認識させるように装着する
もう一つ装着する場合は5m程度前を照らす

ハンドルの前部に
1.5Lのペットボトル4本を収納できる
かごを装着

タイヤの太さ【1と3/8インチ】と
記載されたタイヤのみ装着

* スリックタイヤは不可
* タイヤ外径は問わない

2 開催クラスと車両規定【1チームのライダーは、2～10名が基本】

ママチャリクラス 【「ママチャリの基本定義」に準じた車両クラス】

- a: ママチャリクラス～2～10名の一般クラス
- b: ミックスクラス～ 5～10名で、女性が5名以上含まれているクラス
- c: レディースクラス～5～10名で、全員が女性ライダーのクラス
- d: over350クラス～ 8名以上～10名で、ライダー全員が30歳以上で且つ合計年齢が350歳以上のクラス

ママチャリオープンクラス 【「ママチャリの基本定義」に以下の項目を変更した車両クラス】



- ①ギアは6段までとする。※但しフロントギアは最大42Tまで、リアギアは最小11Tまでとする。
- ②タイヤは【1と3/8インチ(32mm)】以上太いタイヤを使用する。*タイヤ外径は自由*スリックは使用不可

e: オープンクラス ～ 2～10名のオープン車両を使用したクラス



3 車両規定 追記

- ①レース車両は各チーム1台のみ。車検後の車両変更は(ゴールまで)一切不可
*但し、小学生(3年生以上)がチーム内で出走する場合は、安全のため体格にあった自転車の使用を認めます。
小学生走行時にはトランスポンダーを載せ変えて頂きますので、少し手間を要します。予めご了承ください。
 - ②すべての車両は、1名の人力で走行しなくてはならない
*2013年は、日本国内メーカー品に限り、電動補助自転車の参加も認めますが、バッテリーの充電設備は各自でご持参ください。
 - ③自転車の飾りなどは、安全に固定され、乗車ライダーの幅&高さを決して超えないように装着してください
 - ④車両改造に関するガイドライン
 - 1)ハンドルは、ノーマル形状の他にフラットハンドルの使用/交換を認める(ドロップハンドルは不可)(ハンドルの両端にはグリップ/エンドキャップを装着)
 - 2)ハンドルにはDHバー、エンドバーの追加は認めるが、装着車両は手元に後輪に有効なブレーキレバーを装着することを義務とする。
 - 3)ギアの交換に関し、全クラス共通でフロントギアの交換は認めるが、最大42Tまでとする。リアのギアは、オープンクラスのみ交換可能で、最小11T迄とする
 - 4)フレームについて、ママチャリクラス、ママチャリオープンクラスはフレームへの加工を一切禁止する
(軽量化の為に、泥除けなど安全走に支障のない部品取り外しは可)
- ★車検上では、一般的なスポーツサイクルに見られるダイヤモンドフレーム(平行四辺形型フレーム)を、ママチャリではないと判断します。 但し、判断が微妙な車両も存在しますので、事前に事務局に問い合わせください。



この他、追加事項は参加者に直接通知します。



4 競技方法

チーム編成・・・・・・
a)ライダー

2名以上10名まで

*参加対象は、小学3年生(8歳)以上。但し18歳以下の参加者は、親権者の承諾、および親権者が認めた成人同伴来場を義務付ける

b)審判員・・・・・・

チーム内で、自主審判員1名を委嘱します。

*審判員は、チーム内で交代可能です。ライダー兼任もOKです。

*審判員は、自チームの乗車ライダーの乗車時間確認と、違反行為防止を確認します。

c)スタート・ゴール・・ **スタート：2013年7月27日(土) 12:00予定 ゴール：20:00予定**

レースのコースは、十勝スピードウェイ クラブマンコース(1周3.4Km)

コース概要に関しては、十勝スピードウェイ公式HP[http://tokachi.msf.ne.jp]コースガイドをご覧ください。

d)順位・・・・・・ 8時間でもっとも長い距離(多い周回数)を走行したチームを優勝とする。(クラス別)

周回数が同一の場合は、先にチェッカーフラッグを受けたチームが上位とする。

表彰は、各クラス1位の他は、総合順位の中で予め公表する”飛び順位賞”を設定します。

5 ライダー規定

a)ライダーは精神的・肉体的に十分健康であり、8時間[の過酷な運動に十分耐えうるトレーニングを事前に行うこと。

同時にこのイベントは「危険を伴うスポーツ」であるということを理解し、イベント中は自己の安全確保は自分の責任において行い、周囲の参加者に対し思いやりを持った行動と気持ちのゆとりを持つこと。

*ママチャリとはいえ、レースは非常に危険です。レース中の転倒、擦過傷、打撲、肉離れなどかなりの件数がおきます。

*近年、レース中に喘息・過呼吸などの発作がおきてしまう方がおります。

b)1チームのライダーは、2名～10名以下とする。

c)小学3年生以上を参加対象とするが、18歳以下のライダーは必ず親権者の承諾を必要とする。

また会場には、親権者の認めた成人同伴来場を義務付けます。

d)全てのライダーは、ヘルメットを着用すること。

*ヘルメットの形状は、サイクリング用の他、スノーボード・スクーター用など、頭が確実に保護できるものであればOKとする。

*転倒時に最初に怪我をする可能性が高いのが「手」です。それを保護するためグラブの着用を強く推奨します。

e)全てのライダーの服装は、転倒時に自己の体を保護できるものを着用すること。

*長袖・長ズボン、ひざ・ひじサポーターの装着を強く推奨する。(転倒時にひじ・ひざの擦過傷多い)

*過度の身体露出で競技長が危険と判断した場合、改善を求める場合があります。

*サンダル履き乗車は厳禁とする。

f)ライダーは以下のことを厳守すること。

*DHバー、エンドバー、ペダルピンディングなど「耐久レース用装備」を持つ車輛のライダーは、必ず事前にテスト走行し、その扱いに慣れておくこと。

*過度のスリップストリーム走行は(接触事故が多発しているため)自粛すること。



近年、普段自転車に乗っていない参加者が、レース当日初めて自転車に乗り、乗り慣れないがゆえに転倒/接触が原因の擦過傷、骨折事故が大変多くなっています。自分の身は自分で守る。痛いのは自分だけではなく、大会自体の存続に関わる問題ですので確実に対処して下さい。

6 補足説明&賞典

1)車輛ゼッケン/使用ピット(ゼッケン順)は事務局が割り振りする(おおそ申込順となります)

*複数チームのエントリーで同一ピットを使用希望のチームは、申込書に相手チームの代表者及びチーム名を必ず記入し、可能な限り同一の代表者が一括して申込んで下さい。

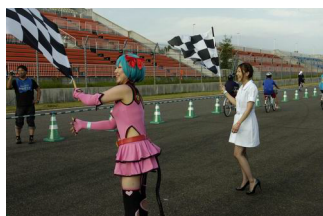
2)車両スタート順は、レース当日の受付時にくじ引きで決定する。

3)各クラスの賞典は以下の通り *2013年4月の予定

クラス賞

各クラス 優勝～3位

また各種特別賞は、応援賞、パフォーマンス賞、ハーフレース賞、審査員特別賞などを用意する。



全日本ママチャリ 8時間耐久レース



2013
MamaChari
Endurance
Race

参加申込み方法

- 専用の申込用紙に必要事項を記入し、①参加料と共に現金書留にてお申込み下さい。もしくは、
②申込用紙をFAXもしくはE-mailにて事務局あてに送付後、1週間以内に参加料を指定の郵便口座に振込み下さい。
- 1チームにつき1枚の用紙が必要です。申込用紙は、公式ホームページよりダウンロードできます。
※複数チームのエントリーで同一ピットを使用希望のチームは、代表者を同一にし、同一場所希望チーム名を記入の上、一括して同時に申し込んで下さい。
 - 申込み締め切りは **6月14日(金)** 振込分まで。**但し定員締め切りを優先とする(400チーム)**
 - 参加取り消しの場合参加料の返却はできません。
 - エントリーチーム名は15文字まで。社会道徳上、一般公開にそぐわないチーム名は、受付できない場合があります。

参加料

●ママチャリクラス・オープンクラス 1チーム 20,000円 (施設入場料別途)

*参加料入金の際には、別途 振込み料/現金書留料金 が発生します。

*エントリー料金には“ライダーの入場料”は含まれていません。レース当日は、チームメンバー/応援団に関わらず全員一律で施設入場料金が発生します。高校生以上 1名1,000円 (中学生以下 無料)

Information

■夜間キャンプについて

- 今年度の大会は、7/27(土) 朝からゲートオープンの予定です。レース終了後(20:00)、翌7/28(日)までは、サーキット内にキャンプ宿泊が可能です。夜間、会場から外出する際は係員の指示に従ってください。なお20:00以降の新規一般入場は不可となりますのでご注意ください。
- 7/28(日)は、サーキットは一般営業となりますので、10:00までにパドック/キャンプ場から退場頂けますよう、ご協力ください。

■レース当日のパドックについて

- 大会期間中、パドックエリア(キャンプ場含む)への車の乗り入れは、各チーム1台のみとします。その他の車両は一般駐車場をご利用下さい。
- サーキット内の参加者エリア、ピット内、パドック裏は、安全のため下記の注意事項を遵守して下さい。
 - ★ピットは屋根付コンクリート地面で、1つのピットを10~12チームで共同使用します。
 - ★ピット内は火気厳禁、および禁煙です
 - ★ピット内の電源コンセントは使用できません。電源が必要な方は各自発電機を持参ください。
 - ★ピット裏は参加者の共同エリアになりますが、スペースが限られているため、簡易テント/簡易テーブル&イス/ブルーシートなどを活用し、ご近所譲り合いながら、楽しく過ごしてください。また、昼食などの調理をする場合はガスコンロなどをご利用し、ブルーシートなどで火種や汁を絶対に路面に付着しないようにして下さい。
- テントを張る場合、炭火を使う場合は、キャンプスペースをご利用ください。ピット裏は、大型テント/炭火は使用禁止です
- 会場内は車両が常に行き来しています。お子様連れの保護者の方は、十分注意し保護監督をお願いいたします。
- レース中のライダーの飲酒は当然厳禁・失格対象ですが、周囲の方々も飲酒等による大人気ない行動は慎むように、ご協力をお願いいたします
- サーキット内にゴミ箱はありません。自分のごみは各自でお持ち帰りください。

■北海道外参加者への案内

- 北海道外から参加のチームには、レンタル自転車プラン(ママチャリクラス用3段変速自転車)があります(台数限定 有料3,000円)
申し込みは、エントリー時に事務局まで、メールかFAXにて予約ください。

問合わせ

ママチャリ耐久レース事務局

北海道河西郡更別村弘和477 十勝スピードウェイ内 電話(0155)52-3910 FAX(0155)53-3366

- ママチャリ耐久レースホームページ <http://www.tokachi.org/mamachari>
メール: mamachari12h@hotmail.co.jp

